

 <p>みんなの「生きる」を 社会福祉法人 慈照園</p> <p>第125号</p>	<h1>慈 光</h1>	<p>社会福祉法人遠州仏教積善会</p> <p>救護施設 慈 照 園</p> <p>静岡県浜松市中区鴨江3丁目4番3号</p> <p>T E L 053-452-3069</p> <p>F A X 053-452-3074</p> <p>U R L http://jishoen.jp</p>
---	--------------	--



「法人創立111周年 過去から未来へ」

社会福祉法人 遠州仏教積善会
会長 左右田 泰丈

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年12月、「今年の漢字」として「戦」が選ばれました。サッカーワールドカップでの日本代表選手や冬の北京オリンピックでの選手の熱き「戦い」、円安物価高など生活の中での「戦い」、そして、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻など「戦争」を意識した年であったことから選ばれたようです。

スポーツなどの平和な「戦い」は望むもの。戦争などの無益な「戦い」は望まぬもの。「穏やかな日常でありたい。」誰しもが願うこの願ひは、古今東西共通の思いであるはずで

す。慈照園で毎月18日に行われる観音供養では、「平穏な世界であるよう」に祈念しています。

さて、慈照園では、昨年2、8、11月に、ご利用者や職員にコロナウイルス感染症が発生しました。いずれも隔離等感染拡大防止策により、爆発的な拡大とならずに終息できました。これも、日常での感染対策や備品等の準備、改築による個室の整備、ゾーニング等の訓練、職員同士の連携の成果と言えます。

また、昨年5か月間に渡り第1期改築工事を行い、地域移行推進や感染症災害対応に有効な環境に整備することができました。早速その効果を実感しています。

さらに、今年第2期工事として、西側に鉄筋コンクリート3階建ての園舎を増築し、感染対策や個別支援に役立つ居室静養室、地域で暮らす生活困窮者支援の通所事業の拠点、職員増員に対応したスタッフルーム等の環境整備充実に取り組みます。1月より着工し、8月に完工の予定です。工事の際には、近隣の皆様にもご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひいたします。

法人創立111周年の今年、過去をふまえて未来に向けて、これからも、地域共生社会の一員として、救護施設慈照園のサービス向上に取り組んでまいります。

皆さま方のご健康とご多幸をお祈りします。



ミニ大仏 ワークショップ in 慈照園 ~令和4年11月19日~
諸縁再興、疾病鎮静の想いを込めて作製しました。
令和5年1月~2月、北海道で大仏の一部になります。

